



代表取締役会長兼社長 村田恒夫 挨拶

2020年3月期決算の概要ですが、市場環境としましては、5G関連での需要の拡大はありましたが、電子部品の在庫調整の影響を受け需要に弱さが見られました。その結果、売上高は、前年比3%の減収、営業利益は前年比5%の減益となりました。

なお、業績予想と比較しますと、スマートフォン向けの売上が予想を上回ったことや、固定費の圧縮が進んだことで、売上高、営業利益ともに上振れとなりました。

次期2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を正確に見積もることが困難な状況ではありますが、主要なセット台数の一定の減少を前提に置き、売上高は7%の減収、営業利益は17%の減益を予想し、設備投資は2,000億円を計画しております。極めて先行きが不透明な中、短期的な経営へのインパクトの最小化と、中長期的な成長機会への備えの両面を意識しながら事業運営を行ってまいります。

また、株主還元に関する方針を変更し、新たにDOE(株主資本配当率)を株主還元指標として採用することとしました。厳しい事業環境下ではありますが、新方針に基づき、2021年3月期の年間配当金は1株あたり110円と、前年比で13円の増配を予定しています。



- 2019年度の売上高は、電子機器の生産調整や電子部品の在庫調整の影響を受けて前年比2.6%減少。一方で、5G関連の需要の高まりにより、業績予想比1.6%の上振れ。
- 同 営業利益は、操業度の低下や製品価格の値下がりといった減益要因により、前年比5.1%の減少。業績予想比では10.1%の上振れ。



- 2020年度の業績予想は、新型コロナウイルスの影響による電子部品需要の落ち込みにより、前年比減収減益を予想。

売上高：前年比▲6.8%

営業利益：前年比▲17.1%

- 2020年度の設備投資は、生産能力増強投資、生産工場棟や研究開発施設の建設を中心に、全体で2,000億円を計画。
- 株主還元に関する方針を変更し、新たにD O E (株主資本配当率)を株主還元指標として採用。これに基づき、2020年度の年間配当金は1株あたり110円（中間配当金55円、期末配当金55円）と前年比で13円の増配を予定。

新型コロナウイルスによる影響

＜主な生産拠点の状況＞ (2020年4月30日 現在)

拠点	現在の状況	備考
無錫 (中国)	生産再開済	生産停止期間(春節～2月9日)
深圳 (中国)	生産再開済	生産停止期間(春節～2月11日)
フィリピン	生産停止(3月17日～5月17日)	5月18日に生産再開予定
マレーシア	部分的に生産再開済	5月12日に生産再開予定
福井 武生 (日本)	生産再開済	生産停止期間(4月5日～7日)
出雲 (日本)	生産再開済	生産停止期間(4月14日～16日)
富山 (日本)	生産再開済	生産停止期間(4月25日～26日)

- ・ 生産拠点については、各国政府や地方自治体の方針に従い、感染防止対策を徹底した上で稼働している。
- ・ 現時点では物流・資材調達面で大きな問題は発生していない。引き続き状況を注視し、事業継続に必要な対策を講じていく。

説明者：南出 雅範

取締役上席執行役員 企画管理本部 経理・財務・企画管理グループ統括部長

新型コロナウイルスの影響をまとめております。

詳細は割愛いたしますが、今年の2月に中国で、3月以降ASEANのフィリピンやマレーシアの工場で生産停止等の影響を受けております。

資料にてマレーシアは12日に生産再開予定としておりますが、直近の情報では5月4日から全面生産再開が決定しております。

また、日本国内では3拠点で新型コロナウイルスの感染者が出ております。なお、現在は生産は再開しております。

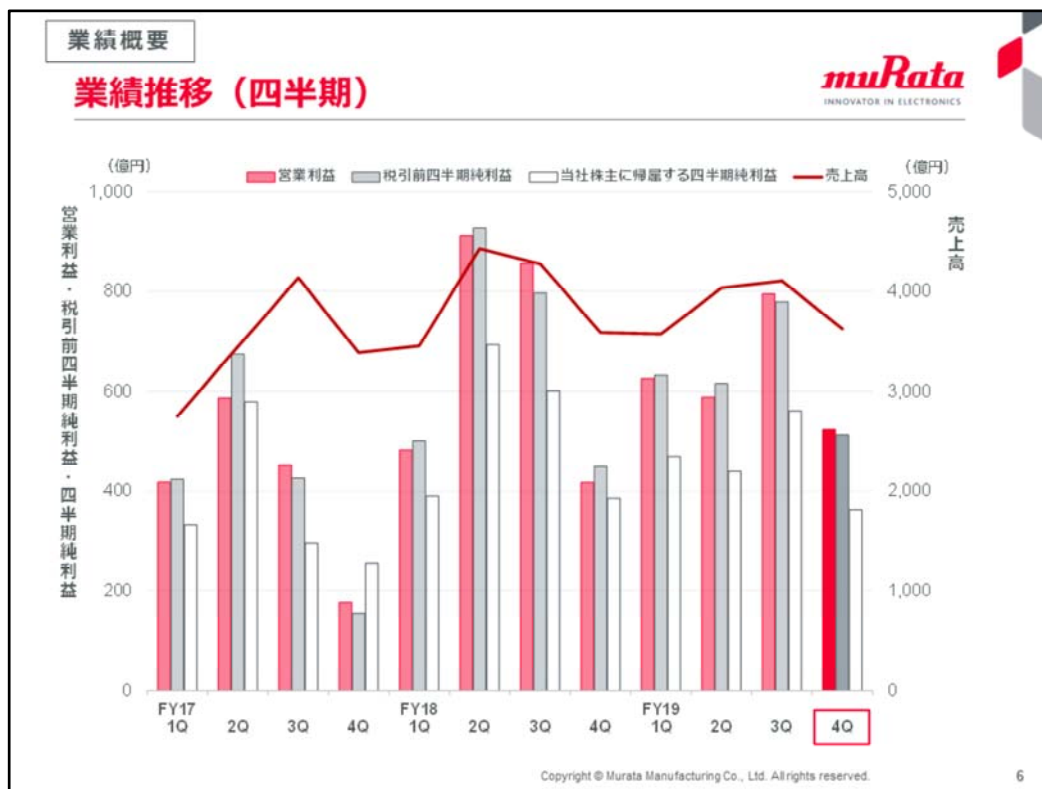
※説明内容は2020年4月30日時点の状況に基づくものです。

2019年度 業績概要

2019年4月～2020年3月
連結累計期間



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



四半期の業績推移のグラフになります。

この中で2点だけコメントさせていただきます。

1つは、第4四半期は通常の季節変動並みですが、実需は確実に第4四半期に落ちていると思われませんが、当社の売上はそれほど落ちておりません。我々の分析では、来期に反動減が起こるような前倒しの取り込みとしておよそ300億円程度が第4四半期の売上に含まれると分析しております。

2つ目は、第4四半期の一時費用として、2017年度に買収しましたVios社ののれんの減損39億円、その他の資産の廃棄損がおよそ40億円が減益要因として含まれております。

業績概況（2019年度通期）

	2018年度 通期		2019年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	15,750	100.0	15,340	100.0	▲410	▲2.6
営業利益	2,668	16.9	2,532	16.5	▲136	▲5.1
税引前当期純利益	2,673	17.0	2,540	16.6	▲133	▲5.0
当社株主に帰属する 当期純利益	2,069	13.1	1,830	11.9	▲239	▲11.6
為替 (円/USD)	110.91		108.75			

- 売上高は、基地局向けやカーエレクトロニクス向けで積層セラミックコンデンサが増加したものの、スマートフォン向けで樹脂多層基板やリチウムイオン二次電池、積層セラミックコンデンサが減少。
- コストダウン活動による増益要因はあったものの、操業度低下や製品価格の値下がり、減価償却費の増加に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による当社海外生産拠点の稼働停止などにより減益。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

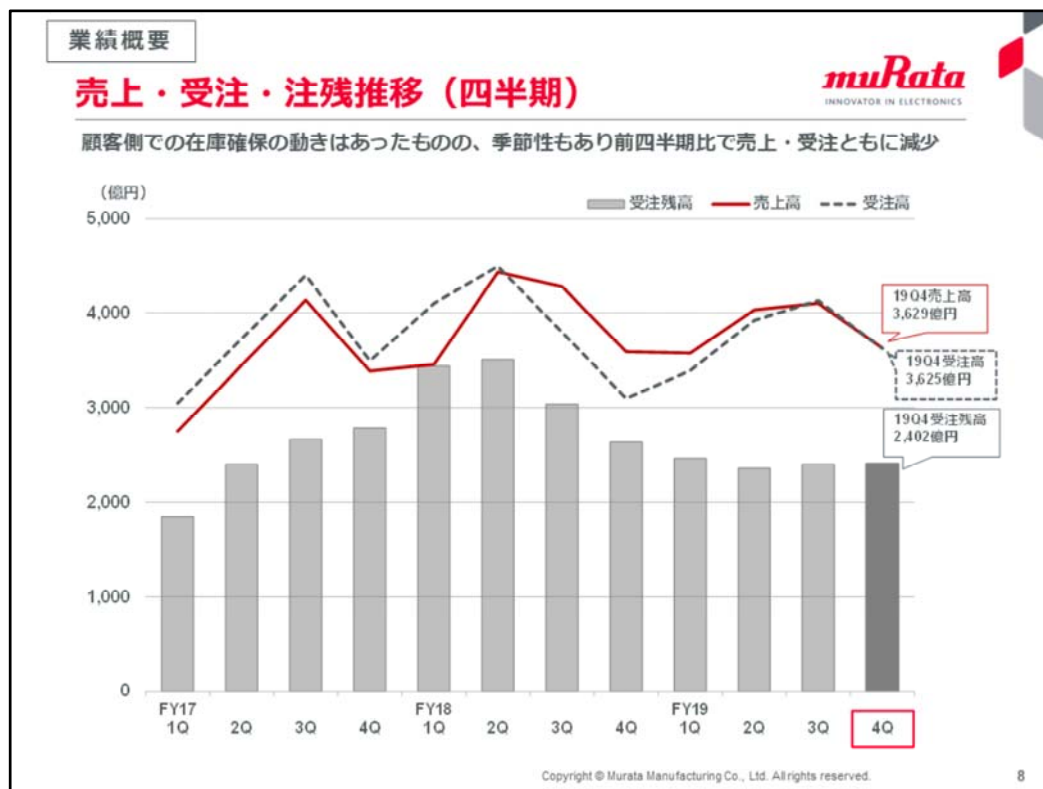
7

業績の概要になります。

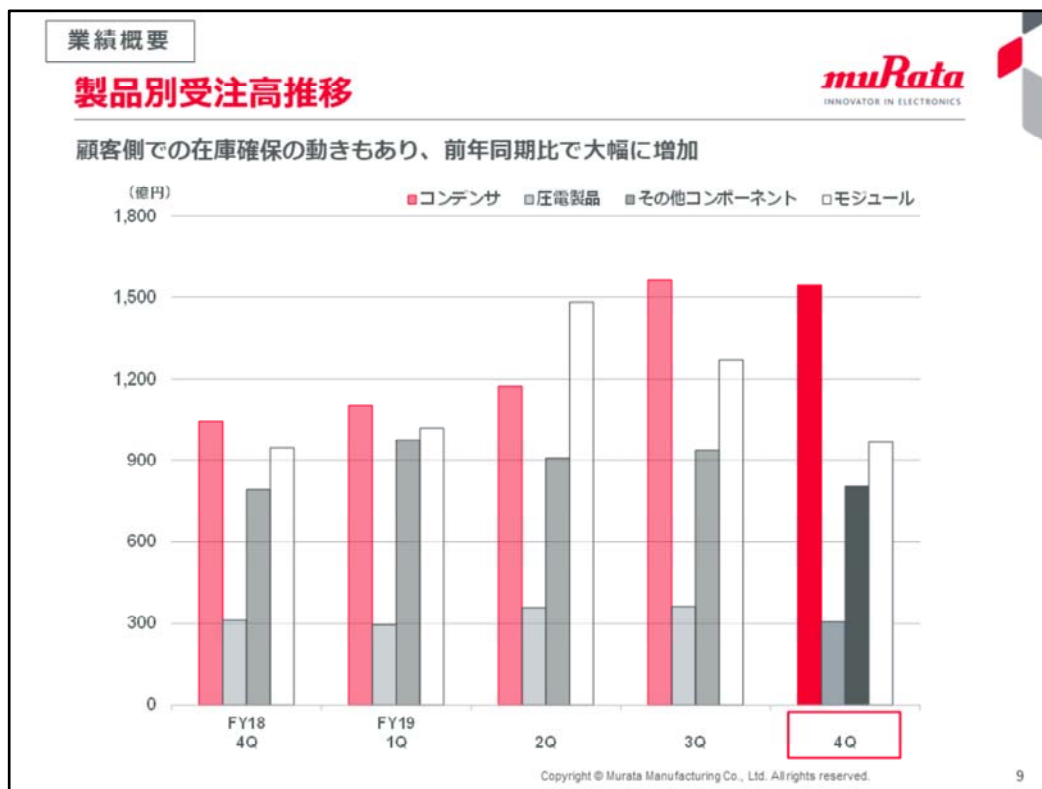
2019年の売上高は前年比2.6%減の1兆5,340億円、営業利益は同比5.1%減の2,532億円でした。

増減の内容につきましては、資料に記載の通りです。

10月に発表した業績予想との差についてですが、売上高は240億円の上振れ、営業利益は232億円の上振れとなっております。詳細な増減益分析は資料の36ページをご確認ください。



説明は割愛いたします。



特徴的な点としては、2019年前半はコンデンサのサプライチェーン上の在庫調整の影響で落ち込んでいましたが、第3四半期から受注が増加し始めました。サプライチェーン上のコンデンサの在庫調整はほぼ解消に向かいましたが、その中で新型コロナウイルスの影響が第4四半期に発生したというのが今期の特徴です。

製品別売上高（2019年度通期）

	2018年度 通期		2019年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	5,742	36.5	5,594	36.6	▲148	▲2.6
圧電製品	1,386	8.8	1,293	8.4	▲93	▲6.7
その他コンポーネント	3,922	25.0	3,630	23.7	▲292	▲7.4
モジュール	4,667	29.7	4,786	31.3	+119	+2.6
製品売上高計	15,717	100.0	15,303	100.0	▲414	▲2.6

多くの品種で前期比マイナスとなりましたが、モジュール事業のみ+2.6%の増収となりました。各品種の増減理由は次ページをご覧ください。

業績概要	
製品別売上高概況	
	
コンデンサ (前期比▲2.6%)	▲チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) 基地局やカーエレクトロニクス向けに売上が増加したものの、得意先や代理店の在庫調整により幅広い用途で減少し、全体として減収
圧電製品 (前期比▲6.7%)	▲表面波フィルタ スマートフォン向けで製品値下がりにより減少
その他コンポーネント (前期比▲7.4%)	○コイル スマートフォン向けやP.C向けで増加 ▲リチウムイオン二次電池 スマートフォン向けや電動工具向けで減少
モジュール (前期比+2.6%)	○通信機器用モジュール スマートフォン向けで大きく伸長 ▲樹脂多層基板/近距離無線通信モジュール ハイエンドスマートフォン向けで減少
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved. 11	

詳細は割愛いたします。

特徴的な動きとしては、コンデンサで基地局が堅調でした。また、自動車向けは市場は弱かったですが、電装化や員数増で売上は増加しました。一方で、コンデンサ全体としてはサプライチェーン上の在庫調整の影響もあり、全体としては減収となりました。

モジュールについては、増収の要因は通信機器用モジュールがスマートフォン向けで伸長したためです。

用途別売上高（2019年度通期）

	2018年度 通期		2019年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
A V	695	4.4	610	4.0	▲85	▲12.2
通信	7,607	48.4	7,922	51.8	+315	+4.1
コンピュータ及び関連機器	2,492	15.8	2,305	15.0	▲187	▲7.5
カーエレクトロニクス	2,571	16.4	2,635	17.2	+64	+2.5
家電・その他	2,352	15.0	1,831	12.0	▲521	▲22.1
製品売上高計	15,717	100.0	15,303	100.0	▲414	▲2.6

（注）当社推計値に基づいております

詳細は次ページをご覧ください。

家電その他につきまして、前期比22.1%減収となっておりますが、背景としてはサプライチェーン上の在庫調整の影響と電池事業においてパワーツール向けで減少したことが大きな要因です。

用途別売上高概況

AV (前期比▲12.2%)	▲デジタルカメラ向けで近距離無線通信モジュールやリチウムイオン二次電池が減少
通信 (前期比+4.1%)	○基地局向けで積層セラミックコンデンサが大きく増加 ○スマートフォン向けに通信機器用モジュールが増加 ▲スマートフォン向けで樹脂多層基板やリチウムイオン二次電池、積層セラミックコンデンサが減少
コンピュータ及び関連機器 (前期比▲7.5%)	▲タブレットPC向けでリチウムイオン二次電池や樹脂多層基板が減少 ▲プリンター向けで電源モジュールが減少
カーエレクトロニクス (前期比+2.5%)	○自動車の販売台数は減少したものの、部品点数増加のトレンドは継続したことにより車載用積層セラミックコンデンサの売上が増加 ▲電動自転車向けでリチウムイオン二次電池が減少

(注) 当社推計値に基づいております

詳細は割愛いたします。

		2018年度 累計		2019年度 累計		増減	
		(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンポーネント	売上高	11,400	100.0	10,983	100.0	▲417	▲3.7
	事業利益	3,121	27.4	2,497	22.7	▲625	▲20.0
モジュール	売上高	4,667	100.0	4,786	100.0	+119	+2.6
	事業利益	145	3.1	494	10.3	+350	+241.6
その他	売上高	1,024	100.0	592	100.0	▲432	▲42.2
	事業利益	106	10.3	57	9.7	▲49	▲46.0
消去又は本社部門	売上高	▲1,341	-	▲1,021	-	+319	-
	本社部門費	▲704	-	▲516	-	+188	-
連結	売上高	15,750	100.0	15,340	100.0	▲410	▲2.6
	営業利益	2,668	16.9	2,532	16.5	▲136	▲5.1

- ・ コンポーネント コンデンサ・リチウムイオン二次電池・表面波フィルタなどの売上減のほか、第二四半期に計上したリチウムイオン二次電池の減損損失により減収減益。
- ・ モジュール 樹脂多層基板や近距離無線通信モジュールが減少したものの、通信機器用モジュールなどが増加したことにより増収増益。
(2018年累計には樹脂多層基板の設備減損損失を含む)

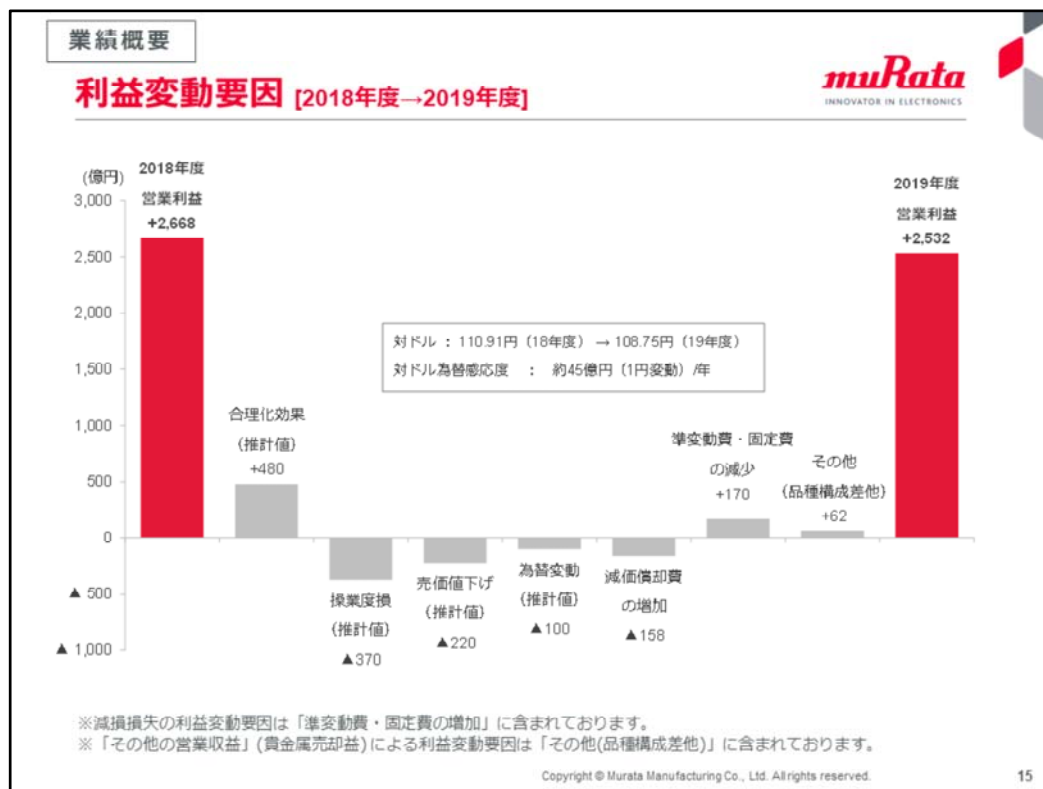
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

14

コンポーネントにつきましては、前期比で減収減益となりました。理由としましては、コンデンサの売上が前期比微減であったこと、電池事業の売上が減少したこと、第2四半期に計上した電池事業での減損損失(約200億円)の影響によるものです。

モジュールにつきましては、前期比で増収増益となっております。増収については通信機器用モジュールでの売上増加、利益については2018年度にメトロサークの減損損失を計上しましたが、2019年度は発生していないこと、一方でVios社ののれんの減損損失をモジュールセグメントで計上しており、それらを合計した結果、増益となっております。

Vios社について、医療用のバイタルセンシングシステムですが、ビジネスモデルとしては買収当初に思い描いていた通り、医療機関向けの評判は良いが、現在デバイスやセンサの使用方法等で改善が必要ということで、思うように売上が立っておらず一部減損損失を計上することになった。当社のヘルスケア事業部全体でサポートしながら、改善に向けて取り組んでいます。



標準変動費・固定費には減損損失の影響や資産廃棄の影響を含んでおりますが、2019年度はコスト削減にも積極的に取り組んだということで変動要因としてはプラス方向に出ております。

品種構成その他では、貴金属売却益78億円が計上されております。

キャッシュフロー

	2018年度 通期 (億円)	2019年度 通期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	2,798	3,503	+705
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,037	▲ 2,844	+193
財務活動によるキャッシュフロー	515	177	▲339
為替変動による影響	22	10	▲13
現金及び同等物残高	2,178	3,023	+845
フリーキャッシュフロー	▲ 239	659	+898
固定資産の取得	▲ 2,916	▲ 2,859	+56
減価償却費	1,244	1,403	+158

- ・ 高水準の設備投資を実行するも、フリーキャッシュフローは増加
- ・ 設備投資を行うための資金調達を目的として社債を発行
18年度：998億円、19年度：499億円

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

16

キャッシュフローは、当期純利益は今期減益でしたが、棚卸資産の減少によりフリーキャッシュフローは増加しております。
また、2018年度・2019年度共に設備投資のための資金調達として社債を発行しております。

2020年度 業績予想 (2020年4月～2021年3月)



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

2020年度 業績予想

	2019年度 実績		2020年度 上期予想		2020年度 下期予想		2020年度 通期予想		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	15,340	100.0	6,810	7,490	14,300	100.0	▲1,040	▲6.8		
営業利益	2,532	16.5	970	1,130	2,100	14.7	▲432	▲17.1		
税引前当期純利益	2,540	16.6	980	1,140	2,120	14.8	▲420	▲16.5		
当社株主に帰属する 当期純利益	1,830	11.9	693	807	1,500	10.5	▲330	▲18.0		
為替 (円/USD)	108.75				107.00					

- ・ 新型コロナウイルスの影響による電子部品需要の落ち込みにより、前年比減収を予想。
- ・ 原価低減の取り組みを進めるものの、製品価格の値下がり、設備投資による減価償却費の増加などにより前年比減益を計画。

売上高は2019年度比6.8%減の1兆4,300億円、営業利益は同比17.1%減の2,100億円を計画しております。

いくつか前提条件を置いて見通しを作成しておりますが、なにぶん極めて不透明な中での業績見通しの作成ですので、仮に変動がありましたら速やかに見直し修正の開示をさせていただきます。

業績予想			
部品需要予測			
			
	2019年度 実績	2020年度 予想	増減
スマートフォン	13.7 億台	12.4 億台	▲10% ↓
PC	4.0 億台	3.9 億台	▲1% ↓
デスクトップ	1.0 億台	0.9 億台	▲3% ↓
ノートブック	1.6 億台	1.6 億台	▲3% ↓
タブレット	1.4 億台	1.4 億台	+1% ↑
自動車	8,300 万台	6,700 万台	▲20% ↓
(部品取り込みベース)			
スマートフォン：消費者心理が悪化しており、前年比▲10%を想定。			
PC：消費者心理悪化も、テレワークや巣ごもりによる需要増加も見込まれることから、同比横ばいを想定。			
自動車：自動車メーカーの減産や消費者の買い控えにより、同比▲20%を想定。			
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.			

スマートフォン、自動車について新型コロナウイルスの影響が出てくると想定し、台数前提として2019年度比でスマートフォンは10%減、自動車は20%減という前提で業績見通しを組んでおります。

業績予想			
製品別売上予想			
	2019年度 実績 (前期比)	2020年度 予想 (前期比)	
コンデンサ	▲3%	横這い	
圧電製品	▲7%	▲12%程度	
その他コンポーネント	▲7%	▲2%程度	
モジュール	+3%	▲17%程度	

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved. 20

新型コロナウイルスの影響で全般的に厳しいですが、コンデンサに関しては、新型コロナウイルスによる需要減もございますが、2019年度に発生したサプライチェーン上の在庫調整の影響が2020年度は無くなるということで売上としては横ばいを計画しております。

用途別売上予想

	2019年度 実績 (前期比)	2020年度 予想 (前期比)
A V	▲12%	+6%程度
通信	+4%	▲8%程度
コンピュータ及び関連機器	▲8%	▲3%程度
カーエレクトロニクス	+3%	▲15%程度
家電・その他	▲22%	+2%程度

(注) 当社推計値に基づいております

AV機器と家電その他以外は減収を計画しております。家電その他はコンデンサの在庫調整影響の反動増も含んでおります。

業績予想の前提

	2019年度 実績	2020年度 予想
減価償却費	1,403 億円	1,580 億円
研究開発費	1,025 億円	1,100 億円
設備投資額	2,816 億円	2,000 億円
為替レート(USD)	108.75 円/USD	107.00 円/USD
為替レート(EUR)	120.83 円/EUR	117.00 円/EUR

【参考 対ドル為替感応度】
 売上：約90億円(1円変動/年)
 営業利益：約45億円(1円変動/年)

詳細は割愛いたします。

新型コロナウイルスによる影響

業績見通しへの影響金額

- 売上高で約▲1,700億円の影響があるものと推計。

※上記の影響金額は、新型コロナウイルスの影響が本格化する前に想定していたセット台数と今期の業績見通しの台数の差分をもとに試算したもので、前年比での減収額ではない。

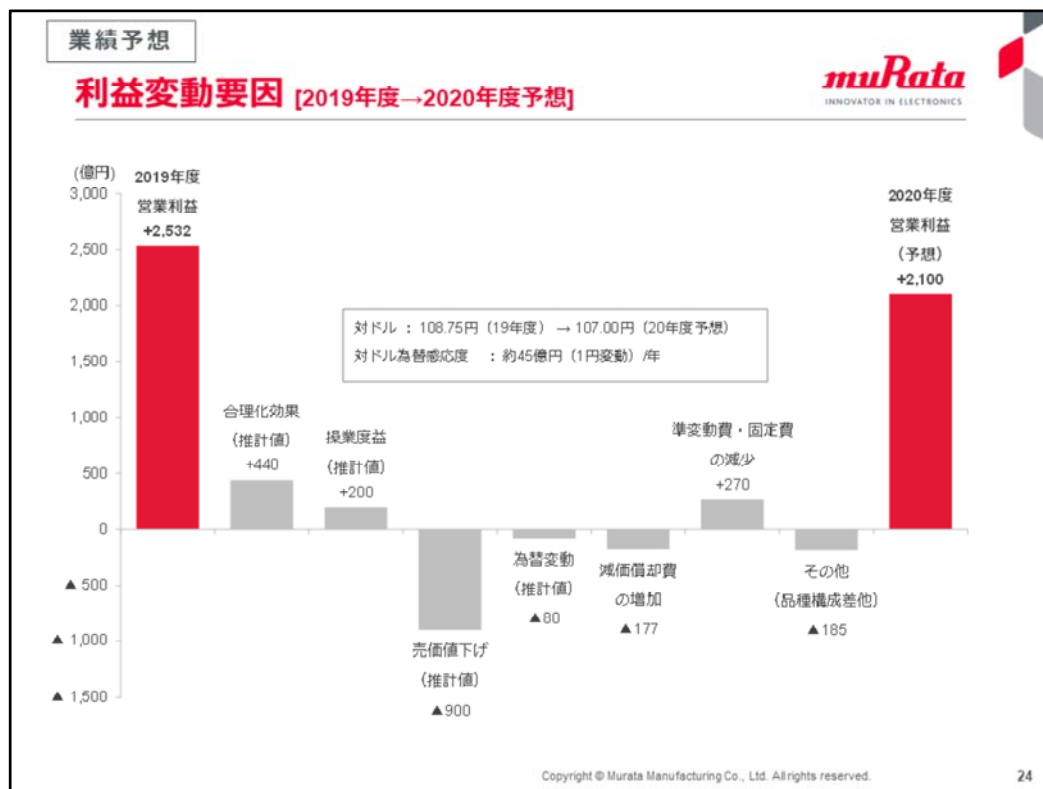
業績見通しの前提条件

- 消費者心理の悪化により、電子機器や自動車の需要が弱含む。
- 感染拡大は上期中に収束し、下期から電子部品需要が回復に向かう。
- 生産拠点において、決算発表日以降に新たな生産活動の停止を見込んでいない。

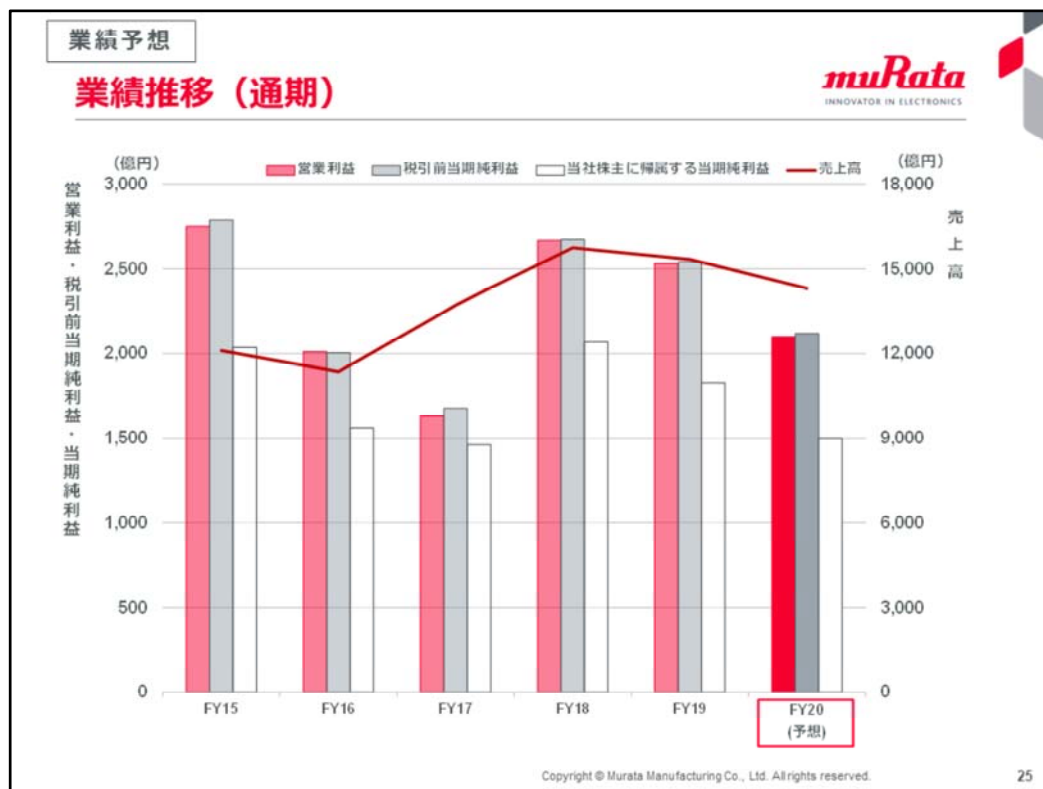
業績見通し変動の機会とリスク

- 世界経済のさらなる悪化により、部品需要が当社予測を下回る（－）
- 生産拠点の稼働停止もしくは稼働率低下（－）
- 各国政府の景気刺激策による需要回復（＋）

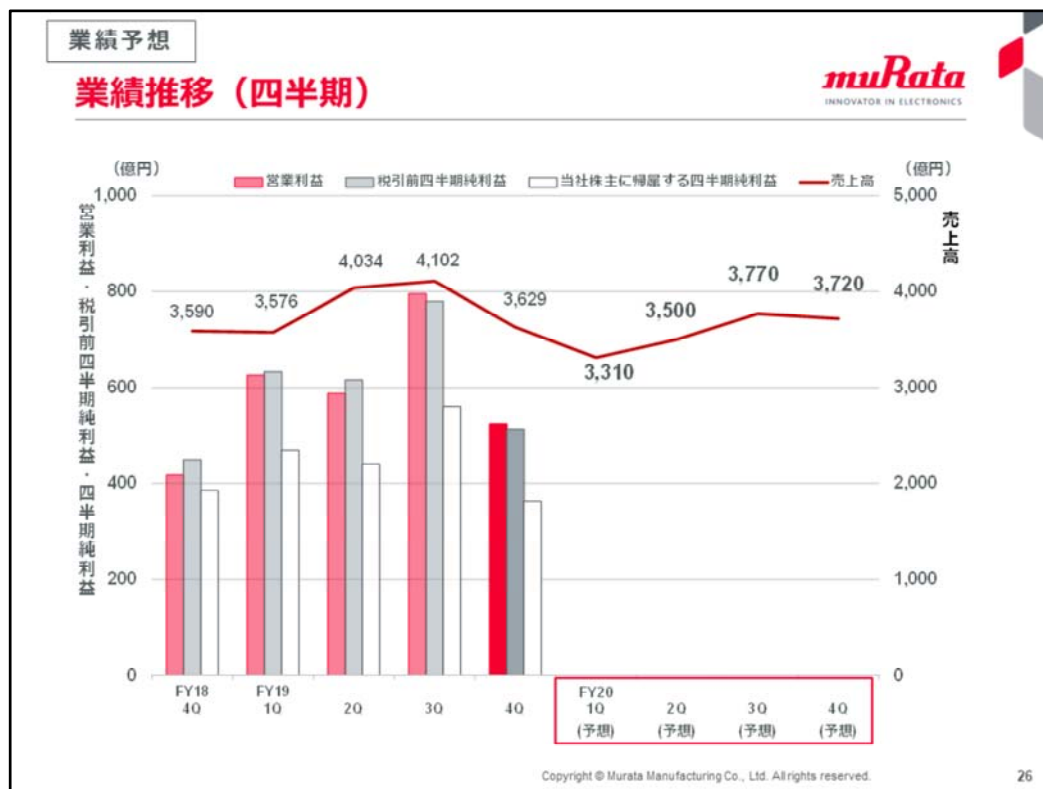
新型コロナウイルスの影響を定量的に出すことは非常に難しいですが、当社の試算では売上高で1,700億円程度の売上減の影響があったものと推定しております。逆に申し上げますと、新型コロナウイルスの影響がなければ2020年度の売上高は1兆6,000億円程度だったのではないかと考えられます。また、この影響額には冒頭申し上げた前倒しの300億円の影響も含まれております。前提条件としては、新型コロナウイルスの感染拡大が上期中に収束すること、また新型コロナウイルスを原因とした生産拠点の停止が新たに発生しないことを前提に業績見通しを組み立てております。業績見通し変動の機会とリスクは記載の通りになります。



売上高が減るのに操業度益が発生する理由ですが、1つは計算前提として売価値下げ前の生産高をベースに計算していること、また2020年度に在庫を積み増す計画であることといったものになります。



詳細は割愛いたします。



第2四半期以降に売上が回復していくことを想定しております。



- 2020年度（2021年3月期）の配当（予定）
1株当たり年間110円
（中間配当55円／期末配当55円）
※年間配当を前年度比13円増配

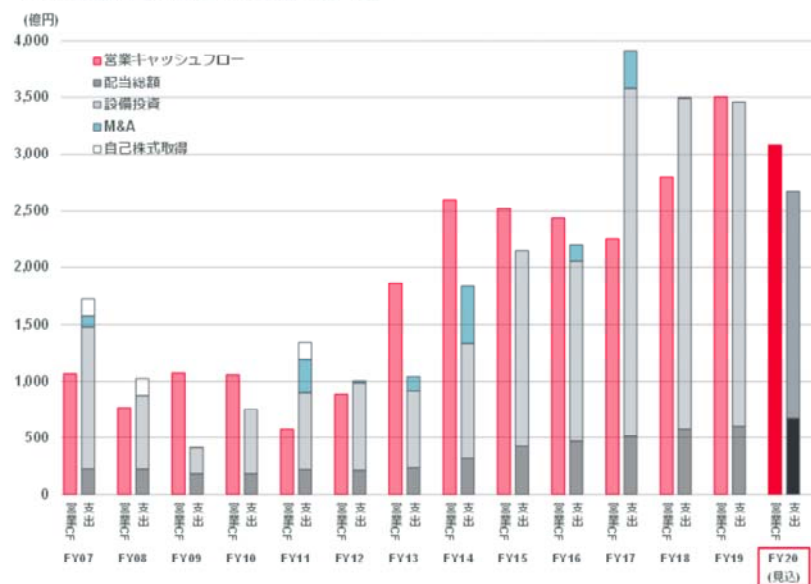
- 2019年度（2020年3月期）の配当
1株当たり年間97円
（中間配当47円／期末配当50円）

※当 配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

2020年度は年間配当を13円増配を計画しております。

キャッシュフロー

- ・ 19年度は自動車市場と通信市場での成長に向け、資金を調達して投資を実行
- ・ 20年度は投資が減少し、回収フェーズへ



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

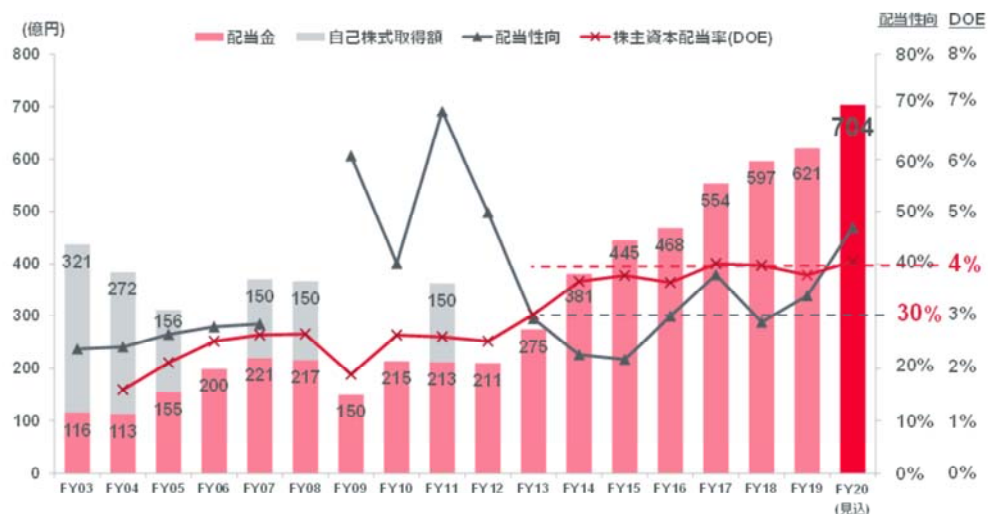
28

詳細は割愛いたします。

株主還元推移

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

- ・ **配当** 従来から配当の安定的な増加を基本方針としており、今回新たな指標としてDOEを採用。
中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- ・ **自己株式取得** 従来から株主還元的手段として、資本効率の改善を目的に適時実施



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

29

業績見通しを前提にすれば、配当性向は47%、株主資本配当率(DOE)4.1%を計画しております。

新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明でありますので、当配当予想は今回発表の業績見通しをもとにしたものになります。



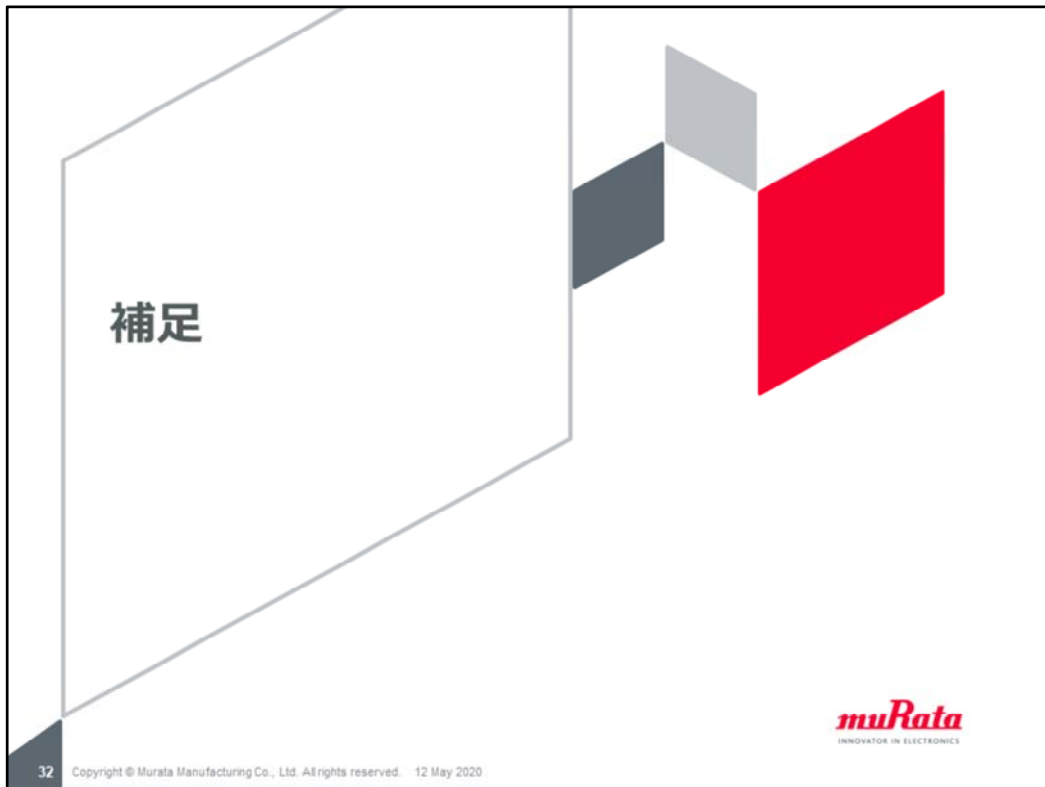
当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS





補足

業績概況 [2019年度第3四半期→2019年度第4四半期]

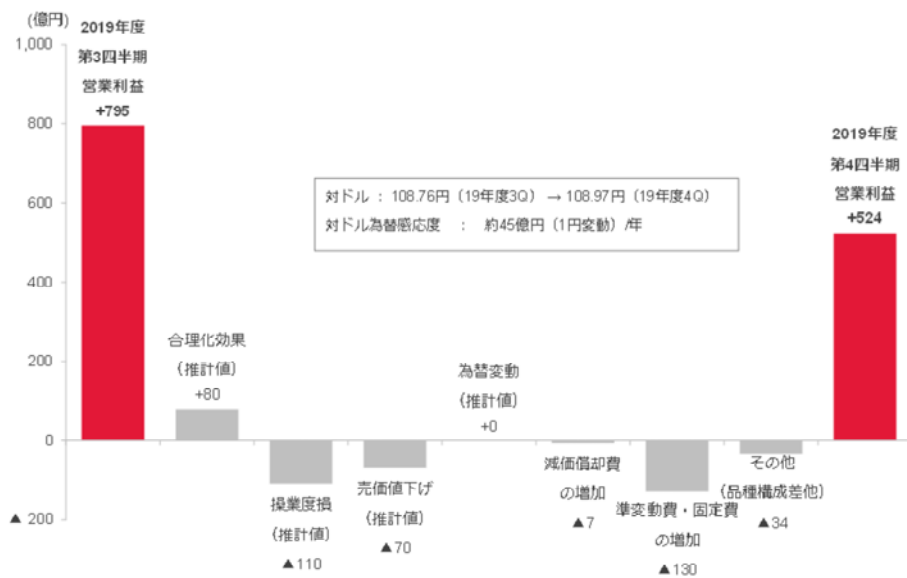


	2019年度 第3四半期		2019年度 第4四半期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,102	100.0	3,629	100.0	▲473	▲11.5
営業利益	795	19.4	524	14.4	▲272	▲34.2
税引前四半期純利益	780	19.0	513	14.1	▲267	▲34.2
当社株主に帰属する 四半期純利益	561	13.7	362	10.0	▲198	▲35.4

補足

利益変動要因 [2019年度第3四半期→2019年度第4四半期]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

34

補足

業績概況 [2019年度通期予想→2019年度通期実績]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

	2019年度 通期予想		2019年度 通期実績		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	15,100	100.0	15,340	100.0	+240	+1.6
営業利益	2,300	15.2	2,532	16.5	+232	+10.1
税引前当期純利益	2,320	15.4	2,540	16.6	+220	+9.5
当社株主に帰属する 当期純利益	1,700	11.3	1,830	11.9	+130	+7.7

補足

利益変動要因 [2019年度通期予想→2019年度通期実績]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

36

補足

業績概況 [2020年度上期予想→2020年度下期予想]

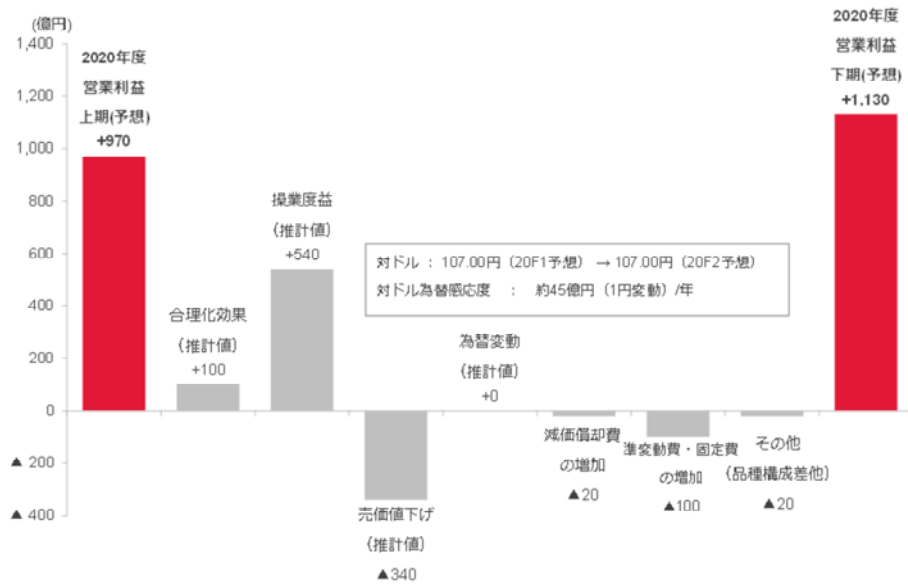
muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

	2020年度 上期予想		2020年度 下期予想		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	6,810	100.0	7,490	100.0	+680	+10.0
営業利益	970	14.2	1,130	15.1	+160	+16.5
税引前当期純利益	980	14.4	1,140	15.2	+160	+16.3
当社株主に帰属する 当期純利益	693	10.2	807	10.8	+114	+16.5

補足

利益変動要因 [2020年度上期予想→2020年度下期予想]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

38

補足

財務データ(1/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



(億円)

	2017年度				2018年度				2019年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,750	3,447	4,135	3,387	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629
営業利益	418	587	451	176	482	913	856	417	626	588	795	524
税引前四半期純利益	424	674	426	154	499	928	797	449	632	616	780	513
当社株主に帰属する 四半期純利益	331	579	294	256	390	693	601	385	468	439	561	362
設備投資	613	716	899	839	777	788	727	624	529	620	814	854
減価償却費	277	329	398	413	269	305	323	347	336	346	357	364
研究開発費	215	229	238	257	260	243	251	262	261	253	247	264
対ドルレート(円)	111.10	111.04	112.98	108.30	109.07	111.46	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76	108.97

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

39

補足

財務データ(2/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



		2017年度				2018年度				2019年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
製品別売上高	コンデンサ	963	1,127	1,269	1,139	1,265	1,472	1,583	1,423	1,377	1,378	1,457	1,382
	圧電製品	375	410	389	346	381	385	321	300	314	319	336	323
	その他コンポーネント	546	730	1,055	892	938	1,083	992	909	924	986	928	792
	コンポーネント計	1,885	2,267	2,712	2,377	2,583	2,939	2,896	2,632	2,615	2,683	2,722	2,498
	モジュール	858	1,172	1,414	995	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121
売上高計		2,743	3,439	4,126	3,372	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619
用途別売上高	A V	137	172	195	162	173	197	175	150	169	177	148	116
	通信	1,367	1,900	2,311	1,619	1,574	2,355	2,133	1,546	1,639	2,121	2,261	1,900
	コンピュータ及び関連機器	464	519	527	513	564	653	680	595	586	606	581	532
	カーエレクトロニクス	446	475	533	547	596	630	660	685	668	661	662	644
	家電・その他	329	372	560	531	541	586	619	606	506	460	439	426
売上高計		2,743	3,439	4,126	3,372	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619
地域別売上高	南北アメリカ	246	340	563	390	389	763	751	456	472	579	458	387
	ヨーロッパ	227	235	292	309	329	322	332	415	361	317	304	338
	中国	1,499	2,010	2,344	1,756	1,810	2,315	2,161	1,657	1,727	2,081	2,372	1,921
	アジア・その他	549	607	590	615	603	664	642	684	630	696	608	646
	海外計	2,521	3,192	3,789	3,070	3,131	4,064	3,886	3,212	3,190	3,673	3,743	3,293
日本		222	247	337	302	318	357	380	369	378	353	349	326
売上高計		2,743	3,439	4,126	3,372	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

40

財務データ(3/3)

(億円)

		2017年度				2018年度				2019年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コンポーネント	売上高	1,972	2,364	2,824	2,480	2,686	3,056	2,982	2,676	2,717	2,788	2,852	2,625
	事業利益	440	569	721	446	626	875	849	772	675	501	689	631
モジュール	売上高	858	1,172	1,414	995	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121
	事業利益	89	121	▲157	▲166	▲5	169	140	▲159	79	179	219	17
その他	売上高	177	240	201	242	244	336	208	236	169	154	140	129
	事業利益	18	27	22	27	29	34	22	21	15	16	12	15
消売又は本社部門	売上高	▲258	▲329	▲304	▲330	▲340	▲445	▲285	▲272	▲264	▲251	▲260	▲247
	本社部門費	▲129	▲130	▲135	▲131	▲168	▲165	▲155	▲216	▲143	▲108	▲125	▲139
連結	売上高	2,750	3,447	4,135	3,387	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629
	営業利益	418	587	451	177	482	913	856	417	626	588	795	524